

2年ぶり全国大会出場決定!

経スボ



2015年8月30日～9月7日に福岡県北九州市のアドーム等で開催された西日本学生バドミントン選手権大会に本学バドミントン

部が当場し、団体で2年ぶりに全日本学生バドミントン選手権大会に出場することが決まった。

5月31日は1回戦、2回戦が行われた。1回戦は広島工業大学と対戦。第1シングルスに出場した吉田は、緊張からか1セツト目の序盤は苦しまるものの中盤以降は徐々に自分のプレーを取り戻し、このセツトを先取する。2セツト目も危なげないプレーで先取し

ー〇で勝利した。第2シングルズに出場した山本も一セット目の序盤は競るものの中盤以降、2セット目も相手を翻弄し2ー〇で勝利した。そして第1ダブルスには吉田・山田組が出場し1セット目で勝利し、3ー〇で初戦を突破した。

でエースの吉葉が出場した。1セツト目は、相手のミスでポイントを稼ぎ、「このセットを先取する。」2セツト目は、相手の猛攻の一時はリードを許すものの、しつかりラリーをして粘り、相手のミスを誘い2-0で勝利。第2シングルズは1回戦と同様に山本が出場。1セツト目は相手の勢いに押されてしまいのセットを落す。2セツト目は自分から攻めることができこのセットを取り返す。3セツト目中盤まではイソーゲームだったがそこから山本の粘りと攻撃で一気に抜け出し、2-1で勝利する。第1ダブルスも1回戦と同様に吉田・山田組が出場した。1セツト目、吉田の後ろからの強打で甘くなつた球を山田が決めるといつ攻めが力を奏し先取する。2セツト目、3ゲーム目は、自分たちが守りに入るところが多くなつてしまい1-2で負けてしまう。第2ダブルスには、キャブテンの矢田と長身の小川が出场。1セツト目は、相手に攻撃をさせず先取する2セツト目は、相手に20点先に取られてしまつが2人の怒濤の反撃で逆転し2-0で勝利。チームも3-1で勝利した。



田は自分からミスをしてしまったのでセツトを取られてしまつ。セツト自体は、粘り強くラリーしてこのセットを奪つ。(セツト自終盤まで競っていたものの、集中力が切れたのかミスが連続してしまい、1-2で負けてしまつ。第2シングルスには、千葉が登場。1セツト目は中盤降ミスが出てしまい先取されてしまつ。2セツト自も本来の自分アレーができず、0-1で負けだ。第3ダブルスは吉田・小川が先に入つた。1セツト目相手のスピードについていけず

のセットを取られてしまふ。2ゲーム目も相手のペースで試合が進み〇—2で負けてしまい、チーバは〇—3で敗れてしまつた。

団体・個人共に全国大会出場!
バドミントン部更なる高みへ!

発刊：大阪経済大学
スポーツ・文化振興課

卷四

VOICE

山本 正（バドミントン部 部長）
「あります。」「な活躍をしてくれる」と
を願っています。

去年は出場することのできなかつた旨日本学生バドミントン選手権大会に出場することができ、とてもうれしいです。去年はあと一歩のところで出場できず、悔しい思いをしたので今出場でき、本当によかったです。普段の練習から選手一人一人が意識高く練習し、頑張った結果がこの結果につながつたと思います。全国大会では、関東の豪校とあたるかもしれないのに、これから一つ一つの練習を大事にして、一つでも多く勝てるように頑張つていきたいと思います。